

令和6年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

| 科目名 | | | | 授業の種類 | 授業担当者 |
|--|-------------|--|-------------------------------------|-------|----------------|
| 保育内容指導法・健康 | | | | 演習 | 宮原千秋 |
| 学年 | 単位 | 時間数 | 授業回数 | 履修時期 | 選択・必修 |
| 1 | 1 | 30 | 15 | 前期 | 幼免：必修 保育士：選択必修 |
| [授業の目的・ねらい] 幼稚園教育要領における領域「健康」のねらいと内容を理解し、子どもたちが自ら健康な心身の発達を育んだり、健康で安全な生活を形成する力を養ったりするために必要な知識や技術を身につける。また、乳幼児期の心身発達の特徴について理解を深めることにより、領域「健康」に関わる具体的で適切な指導方法を身につける。 | | | | | |
| [授業全体の内容と概要] 教材の研究や、指導案の作成、またグループに分かれての模擬保育などを実施しながら、領域「健康」の全体像を掌握できるように解説を加えた授業展開をしていく。模擬保育の教材研究に関わる情報収集や発表の際のプレゼンテーションにおいては、ICTを活用する。 | | | | | |
| [受講上の注意事項] 意欲的に取り組み理解を深める。 | | | | | |
| [使用テキスト]・保育内容「健康」(ミネルヴァ書房) ・幼稚園教育要領解説(平成30年文部科学省 フレーベル館) ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館) ・保育所保育指針解説(平成30年厚生労働省 フレーベル館) | | | [評価基準] 筆記試験 60% 指導計画案20% 模擬保育20% | | |
| [授業の日程と各回のテーマ・授業内容] | | | | | |
| 回 | 項目 | 授業内容 | | | |
| 1 | 領域「健康」 | 領域「健康」とは そのねらいと内容の概要 | | | |
| 2 | 基本的な生活習慣の形成 | 基本的な生活習慣の習得過程と援助のありかた | | | |
| 3 | 健康管理 | 健康管理および安全意識を育てる援助のありかた | | | |
| 4 | 食と健康 | 乳幼児期に養いたい「食を営む力」 | | | |
| 5 | 模擬保育① 指導計画 | 健康指導・安全管理を中心とした、健康な心と体を育む保育の構想(インターネット活用を含む情報収集による教材研究および指導計画) | | | |
| 6 | 模擬保育② 実践 | 健康指導・安全管理を中心とした、健康な心と体を育む保育の模擬保育実践(パソコンを用いたプレゼンテーションを含む) | | | |
| 7 | 模擬保育③ 振り返り | 模擬保育の振り返りと、健康な心と身体を育む保育における評価のあり方 | | | |
| 8 | 様々な動きの経験 | 様々な動きの経験を促進する援助のありかた | | | |
| 9 | 環境構成 | 幼児期の心身の発達の特徴を踏まえた環境構成と援助のありかた | | | |
| 10 | 模擬保育④ 指導計画 | 運動遊びを中心とした、健康な心と体を育む保育の構想(インターネット活用を含む情報収集による教材研究および指導計画) | | | |
| 11 | 模擬保育⑤ 実践 | 運動遊びを中心とした、健康な心と体を育む保育の模擬保育実践(パソコンを用いたプレゼンテーションを含む) | | | |
| 12 | 模擬保育⑥ 振り返り | 模擬保育の振り返りと、運動遊びを中心とした、健康な心と身体を育む保育における評価のあり方 | | | |
| 13 | 自分の身体 | 自身の感覚世界を通して、幼児の感覚世界へ疑似的に潜入し、彼らの物や人および自分の身体との関わり方の意味と特性を理解して健康指導を構想する | | | |
| 14 | 小学校との連携 | 幼児期の終わりまでに身につけるべき力と小学校教科とのつながり | | | |
| 15 | まとめ | まとめと試験 | | | |
| 実務教員としての経歴 | | 幼稚園教諭として幼稚園に勤務8年 (うち認定こども園で主幹保育教諭として1年) | | | |
| 実務経験と授業の関連 | | 幼稚園教諭としての経験を活かし、保育内容について必要な知識と技術を養う。 | | | |